

事業所名		子育て支援 和美 東神奈川教室		支援プログラム		作成日		2025		年		3		月		20		日	
法人（事業所）理念		利用者や保護者と共に悩み、共に考え、共に実践します。 利用者の最善の利益を大切にし、一人ひとりの個性を尊重します。																	
支援方針		障害の程度にかかわらず、日中活動の場を保障し他者との出会いやふれあいの中で様々な体験を重ね、利用者の生きる意欲を育みます。 利用者や家族の思いに心を傾け、地域の関係機関と連携し、課題に結び付けていきます。 利用者が様々な将来を選択できるように自立支援を行ないます。																	
営業時間		放課後 14:00 から 18:00 学校休業日 10:30 から 16:30				送迎実施の有無		あり		なし									
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。 スケジュール管理を身に付ける方法。遊びの中や、日常の学習機会を利用した環境配慮を工夫し支援していきます。																	
	運動・感覚	緊張、力加減など体のコントロールをする練習をします。 またからからたの感覚や様々な感触に触れ、五感を使う経験を増やし感覚の成長を支援します。 身体の動きをコントロールできると気持ちやテンションのコントロールへも役立ちます。正しい姿勢を保つようにいたします。																	
	認知・行動	年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。 頭ではどうすべきかわかっていても、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せないなどの気持ちに、名前を付ける、強さに段階を付ける、絵にして書いてみるなど客観視してコントロールする練習をします。着席する、周りをよく見る、話を聞く、読む、嫌なことでも頑張ってみる等、課題に向かう、学習の姿勢を支援します。頑張ってたったと感ずるような関わり方や内容を工夫します。																	
	言語 コミュニケーション	相手の欲求、報告、聞く、模倣、観察する等、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけではなく、ジェスチャーカード等こどもにあった方法を一緒に考えます。 暴力や暴言等社会的には不適切とされる行動も、こどもにとっての何らかの問題に「対処している行動」ととらえる事が出来ます。 どんな問題に対処しようとしているか、丁寧に観察しつつ、社会的にも適切な行動を考え工夫し、支援します。																	
	人間関係 社会性	集団での行動や、友達とのかかわりを通して実践的に学び身に付けます。 挨拶、ルール、マナー、礼儀、感謝、謝罪など、人間関係や社会生活で活躍するスキルを身に付けます。 友人、上下関係、利害、協力、対立など、集団で発生する様々な人間関係において相手も自分も大切に行動を選択できるようにしていきます。																	
家族支援		アタッチメントの安定の支援をしていきます。 家族からの相談に対する適切な助言等を行なっていきます。 障害の特性に配慮した家庭環境の整備し支援します。				移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備のお手伝いをしていきます。同世代のこどもをはじめとした地域における仲間づくりを目指します。											
地域支援・地域連携		地域のこども家庭センターや障害者支援センター、相談支援事業所と取り組みや支援の連帯を行なっていきます。近隣の放デイ、通学中の学校などや将来を見据えて成人の事務所とのやり取りも行なってきます。				職員の質の向上		新人職員研修・スキルアップ研修・法定研修・防災に関する研修・ケース検討会等、虐待防止や身体拘束に関する研修、法定研修と同時に事業所での独自の研修を行ないます。また外部研修や他機関連携での研修などに取組んでいきます。											
主な行事等		季節に応じた行事を行ないます。四季を感じるために地域の公園や施設に行き様々な体験を増やしていきます。 また行事にちなんだ創作活動を行なうことによって日本の伝統や季節感も覚えていきます。																	